学校番号	２１８

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『言語文化　改訂版』（大修館書店）						
副教材等	『トータルサポート　新国語便覧　改訂版』（大修館書店） 『Key&Point　みるみる覚える古文単語 300＋敬語 30　三訂版』（いいずな書店） 『古典文法の新しい学習スタイル　学ぶぞ　古典文法』（尚文出版） 『学ぶぞ　古典文法　基本練習ノート』（尚文出版） 『ニューフェイズ　現代文１』（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古文や漢文は語学です。自分で意味調べをすることや、古文や漢文の文法に慣れましょう。
・授業ノート、古典文法のノート、問題集等も、評価対象です。
　板書以外に、自分で気づいたことも書きとめるなど、工夫したノートづくりを心がけましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

点観	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代語とのつながりや違いを意識しながら、古文のきまりを理解する。 古文のきまりを踏まえて文章を読解し、話の展開や心理の推移を捉える。 ［教材］古文の基礎・児のそら寝	a：古典の世界に親しむために、古文のきまりや古典特有の表現などについて理解している。また、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。また、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 c：説話文学に興味をもち、登場人物の言動から、いきいきとした心理の推移を読み取ろうとしている。古文の世界と現代とのつながりを理解しようとしている。	定期考査 小テスト 発表	定期考査 発表	ノートの記述 授業中の発言 提出課題
	構成や表現の特色を踏まえて文章を読解し、和歌に詠まれた心情を味わう。 ［教材］芥川・筒井筒	a：日本の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。また、古文のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。また、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、日本の言語文化について自分の考えをもっている。 c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。	定期考査 小テスト 発表	定期考査 発表	ノートの記述 授業中の発言 提出課題
2学期	古人のものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を深める。 ［教材］ある人、弓射ることを習ふに	a：古典の世界に親しむために、古文のきまりや古典特有の表現などについて理解している。また、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を進んでとらえ、自分のものの見方や考え方を深めようとしている。	定期考査 小テスト 発表	定期考査 発表	ノートの記述 授業中の発言 提出課題
	日本語とのつながりや違いを意識しながら、漢文のきまりを理解する。 ［教材］漢文の基礎・成句	a：日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。また、古典の世界に親しむために、漢文のきまりや漢文特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c：漢文訓読のきまりを理解しようとしている。	定期考査 小テスト 発表	定期考査 発表	ノートの記述 授業中の発言 提出課題

	漢文のきまりを踏まえて文章を読解し、日本文化と外国文化とのつながりや違いを捉える。 ［教材］蛇足	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。また、古典の世界に親しむために、漢文のきまりや漢文特有の表現などについて理解している。さらに、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。加えて、古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。さらに、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 c：故事成語の内容や文化的背景に興味をもち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。	定期考査 小テスト 発表	定期考査 発表	ノートの記述 授業中の発言 提出課題
	構成や表現の特色を踏まえて文章を読解し、心理の推移を捉える。 古典の世界と近現代とのつながりを知り、日本の言語文化への理解を深める。 ［教材］羅生門	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。また、日本の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。 c：言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	定期考査 小テスト 発表	定期考査 発表	ノートの記述 授業中の発言 提出課題
3学期	作品の背景を踏まえて文章を読解し、言葉を通して古人の生き方に触れることで、自分の生き方についての考えを深める。 ［教材］木曽の最期	a：古典の世界に親しむために、古文のきまりや古典特有の表現などについて理解している。また、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。加えて、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。さらに、作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。最終的には、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、日本の言語文化について自分の考えをもっている。 c：作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。また、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	定期考査 小テスト 発表	定期考査 発表	ノートの記述 授業中の発言 提出課題
	伝統的な詩歌の題材や表現技法についての理解を活かして、自分の思いや体験を情感豊かに表現する。 ［教材］詩歌	a：和歌には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。また、本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。	定期考査 小テスト 発表	定期考査 発表	ノートの記述 授業中の発言 提出課題

		c:和歌に興味をもち、歌人やその時代の背景に興味をもち、自分なりの解釈を行おうとしている。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（０）時間

・書くこと　…　（５）時間

・読むこと　…　（６５）時間